

イクウメ「新しい祝日」

11月28日(金)~12月14日(日) シアターイースト

詳細はP14へ



「関数ドミノ」(2014年5月)

作・演出:前川知大

出演:浜田信也、伊勢佳世、安井順平、

盛 隆二、岩本幸子、森下 創、大窪人衛 ほか

前川知大の1年ぶりの新作はホラー? SF? それとも…

読売演劇大賞グランプリ・最優秀演出家賞、鶴屋南北戯曲賞、読売文学賞戯曲・シナリオ賞など、華やかな受賞歴を誇る劇作家で演出家の前川知大。彼が2003年に結成し、世界観をシェアする7人の俳優たちと活動を展開する劇団イクウメは、クオリティの高い戯曲と演出で人気。ホラー、オカルト、SFといった要素に、毒を含んだシニカルな笑いも盛り込みながら、日常の中に見え隠れするパラレルワールドをシュールなタッチで描く。

今年は2月に劇団内別働隊カタルシツがTPAMショーケースに参加。春には前川が市川猿之助主演のスーパー歌舞伎II(セカンド)の作・演出を手掛け、高く評価された。夏には、前川の「太陽」を改訂した「太陽2068」が蜷川幸雄の演出で上演されたばかり。そんな勢いのあるイクウメの1年ぶりの新作が芸劇に登場。新作公演について前川は語る。「今年前半の活動を活かし、前進しようと制作中。どうぞご期待ください」

主催:イクウメ/エッペイ 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

芸劇dance 勅使川原三郎ディレクション U18ダンスワークショップ・プロジェクト 公演

12月20日(土)~21日(日) シアターイースト

詳細はP15へ



©上田 茂

監修・演出・振付:勅使川原三郎

出演:U18ダンスワークショップ・プロジェクト参加者、KARASダンサー

踊ること、息をすること、生きてゆくこと。

若者達のダンスワークショップ3年間の集大成。

呼吸と身体の関係性を基にして自分の身体の可能性を探っていく、勅使川原三郎のダンスメソッド。東京芸術劇場と勅使川原三郎は10代の少年少女を対象に、2012年から3年間、本ワークショッププロジェクトを継続してきました。

3年間の集大成として、ワークショップ参加者が出演するディレクション公演を行います。半年間のワークショップを通じて勅使川原三郎メソッドを学んだ若者たちの、のびのびと躍動する自由な身体が、舞台上で息づく瞬間をお見逃しなく。

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
東京都/東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
助成:平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業  
企画制作:東京芸術劇場/KARAS

芸劇 + トーク「自作自演」

12月22日(月) シアターイースト

詳細はP16へ



立川談春



前川知大

立川談春 × 前川知大  
(落語家) (劇作家・演出家)

リーディングとトークで感じる「ナマの声」

異世代の劇作家同士、劇作家と小説家などの顔合わせで好評を得てきた「自作自演」。自作のリーディングと、読後の対談から、表現者の「ナマの声」を聴くディープでぜひいたくなひとときを楽しめます。

今回はドラマ『ルーズヴェルト・ゲーム』出演などで話題を呼んでいる落語家 立川談春と、劇団イクウメを率いる気鋭の劇作家 前川知大の顔合わせが実現! 一夜限りの“ライブ”にご期待ください!

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
東京都/東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

尚、「自作自演」シリーズは、今後も続きます。詳細は劇場HPをご覧ください。